

「日本女性会議2025 橿原」第3回実行委員会報告

- 1 開催日時 令和6年2月20日(火) 午前10時~12時
- 2 場所 大和信用金庫八木支店3階第1会議室
- 3 出席委員 18名
- 4 欠席委員 8名
- 5 事務局 6名(橿原市企画戦略部人権政策課)

6 各部会進捗報告

各部会の進捗について、事務局より一括して報告した。(資料1)

(1) 総務部会

総務部会の開催なし

「参加受付・宿泊手配等業務委託」のプロポーサル審査
報告事項で説明する。

(2) 企画部会

意見交換会(1月17日開催)

企画部会員数名と事務局員が参加して意見交換を行った。

第3回企画部会(1月30日開催)

プレ大会の概要、分科会テーマ等について検討
議案3、4で説明する。

(3) 広報部会

第3回広報部会 2月5日開催

シンボルマークデザインマニュアル、使用規程について協議
ホームページ制作等業務委託について協議
議案2及び報告事項で説明

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 議案第1号 2024(令和6)年度事業計画(案)・予算(案)について
2024(令和6)年度事業計画(案) (資料2)

① 実行委員会

- ・来年度は5月、10月頃、2月頃の3回程度を予定している。
- ・役員会や各部会の開催は進捗状況を見ながら随時開催

② プレ大会の開催

- ・開催1年前に市内外に向けて日本女性会議の周知を図るために開催する。
開催日: 11月16日(土) 会場: かしはら万葉ホール

③大会ホームページの作成

- ・大会開催の告知、参加者の受付のために専用ホームページを作成する。
第2号議案でプロポーザルの仕様書、実施要領を説明する。
事業者決定 4月、稼働：9月

④大会運営等業務委託者の選定

- ・円滑な大会運営を行うため業務委託する。
- ・事業者の選定はプロポーザルで決定する。

⑤協賛・寄付等の募集

- ・市内外の多くの企業へ協賛・寄付への協力を働きかけしていく。

⑥大会のPR

- ・ホームページやSNSを活用して、開催を盛り上げるために、幅広い年代に対応した広報を行う。併せて男女共同参画に関する様々な情報を発信して地域の男女共同参画の推進を促す。
- ・男女共同参画に関心を持ってもらい、大会開催を盛り上げるためのイベント等を柔軟な実施方法を考えながら開催する。
- ・市内で行われるイベント等に参加して広報活動を行っていく。

2024（令和6）年度事予算（案）（資料3）

- ・総額 6,550,000 円の事業費を提案
- ・収入について、市補助金 1,500,000 円、協賛金 4,800,000 円など
- ・支出について、プレ大会の費用（報償金、手数料、委託料など）を計上
- ・ホームページ作成業務、大会参加・宿泊手配等業務、大会運営等業務を委託料で計上

〔議決の結果〕

事業計画（案）・予算（案）ともに承認された。

〔議事の経過〕

（委員）

ホームページの稼働が9月でプレ大会まで2か月半ぐらい、結構ギリギリだが、プレ大会の告知はどういう形ですか

（事務局）

今は市のホームページ上で実行委員会の情報を発信しているが、専用のホームページで発信していきたい。また、議案第2号のホームページ制作等業務のプロポーザル審査の仕様書ではスケジュールの前倒しで7月公開を目指す。

まずはシンボルマークを使ったポスター・チラシを作って発信していきたい。また、協賛金、寄付金の募集でも広報していく。

(委員)

ホームページを作るのは簡単で、いかに発信するのか、周知させるのかが肝要である。全国への周知をどのように具体的に費用感も含めて広報していくのか。

橿原市は十数万人の住民の方いる。実行委員にも発信力のある方がたくさんいるので、みんなで発信していく、フォロワー5人でも10人でもそこから広がっていく、そこから輪も広がっていくかと思う。全員で出来ればいいのではないか。

(実行委員長)

部会を通してとか、部会の関係の所とか、まずお伝えすることが大事かと思う。それと地域の皆さんが知って一緒にやろうとならないと。全国の人に発信する人と、地域の皆さんに発信する人両方がいるかなと思う。

(委員)

S N Sの発信を積極的にやりたいが、勝手に発信するのはマズいと思う。発信OKを明確にしていただけると動きやすいと思うんで。

(実行委員長)

いつ公表していいかを皆さんにお伝えしていく。また、日程等については今日決議してこれでいくかと決まったら、市のホームページに載せていただく。

(委員)

県内各市町村に男女共同参画に関わる部局に周知の協力をお願いしたらどうか。

(事務局)

県内の男女共同参画担当課と女性センターに周知をしていきたい。

(委員)

新聞・テレビなどに協力をお願いできないか。スポット広告とか。

(事務局)

地元放送局や新聞などに情報発信して取材を働きかけしていきたい。また、奈良県にも広報活動への協力をお願いしていきたい。

(委員)

プレス発表の方法とか紙媒体とかホームページをどうするかとかの広報戦略をできたら年度内に決めて皆に渡していく形にするのがいいのではないか。プレス発表、新聞広告、ポスター・チラシの配布、ホームページ、S N Sほどの段階で皆さんに協力してもらおうかなどの戦略を広報部会で立ててほしい。

(広報部会長)

事務局と相談して早急に決めていきたい。

(2) 議案第2号 大会ホームページ制作等業務のプロポーザル審査について

事務局より大会ホームページ制作等業務のプロポーザル審査について説明

(資料4、資料5)

- ・プロポーザル方式にて事業者を決定する。
- ・業務期間は、契約締結の翌日から、2025年度末まで。
- ・ホームページのデザインや見せ方は事業者から提案してもらう。
- ・開設当初は主にプレ大会の情報を掲載する。プレ大会終了後、本大会の情報に内容を更新する。できるだけ早い時期の更新を目標にしていく。
- ・「実行委員会活動報告」や「お知らせ」のページは、担当事務局で直接記事を投稿できる機能を装備する。
- ・提案上限額は4,500,000円、2024年7月のホームページ開設を目標として、2月22日に公募開始、プレゼン審査3月27日頃、4月中の契約締結のスケジュールとする。
- ・プレゼンテーション審査は広報部会の部会長と副部会長、他に事務局から3名の5名による選定委員会で行う。審査基準はコンセプト、デザインと構成、保守サポート、実績に重点を置いた配点とした。

〔議決の結果〕

プロポーザル審査の実施について承認された。

〔議事の経過〕

(委員)

「檀原市の見どころ」の公開時期が2025年の7月公開となっているが、初めから出来るのではないか。記事がなくてもリンクを活用することも可能ではないか。

プレ大会が終わったら本大会用にリニューアルすると解釈したが、本来宣伝すべきは本大会ではないか、本大会のことを先にPRしておかないと。檀原に予定を入れて来てもらうために最初からアピールしていくべきではないのか。

(事務局)

「檀原市の見どころ」には、当初は観光協会とか檀原市の観光部門のページへのリンクを考えている。このホームページの制作ではオリジナルでの散策や、女性に特化したような形での「見どころ」の発信ができるページを作りたい。

本大会の内容は決まってきたら早急にホームページにアップしていきたい。

(実行委員長)

全国の情報発信も重視して、細かいことはさておき情報を発信してもらわないと。

プレ大会は予行演習みたいなものなので、うまく両方発信できるようにお願いします。

(委員)

契約期間終了後のホームページの情報はどうなるのか。実績が残るように、検討いただきたい。

(事務局)

契約期間終了後は檀原市のホームページに情報を引き継ぎたい。

(3) 議案第3号 2024年プレ大会概要について

事務局より2024年プレ大会概要について説明(資料6)

- ・開催日:2024年11月16日(土)、会場:かしはら万葉ホール
- ・日本女性会議に向けて地元の機運醸成を図るイベント。
- ・メインイベント「野々村友妃子さんトークショー」
- ・小さな子どもがいる人も多く参加してもらうため、運動あそびやバルーンショー、託児などトークショー開催中に子どもの遊び場を開設する。
- ・その他、女性経営者や女性起業家によるトークセッションなどを企画
- ・奈良女子大学の学生の「サイエンス・オープンラボ」体験型のワークショップを企画
- ・女性起業家による体験型ワークショップやプチセミナーなどを企画

〔議決の結果〕

概要について承認された。

〔議事の経過〕

(委員)

「子どもの遊び場」について、メインイベントの前後の時間も必要ではないか。託児は1日できないか。

(事務局)

タイムスケジュールを調整する。終日の託児対応は託児をお願いする団体と協議する。

(委員)

野々村さんのトークショーの質問は企画部会の中から集めるのか、一般からか。

ホームページを立ち上げるなら、野々村さんに聞きたいことを募集したらどうか。

(事務局)

質問は、参加される方から事前に集める予定。多く質問をいただきたいので、ホームページも検討する。

(委員)

障がいをもってる人も、子どもと離れられない人も参加できるように、会場の外でトークショーを聴ける環境が作れないか。

(委員)

プレ大会で検討すると思うので、それを本番に生かせるように考えてほしい。

(事務局)

施設と相談して、別室で視聴するとかが可能かどうか検討する。

大会についても検討する。

(実行委員長)

大枠はこれでご了承いただいたということでよろしいか。

(3) 議案第4号 2025年本大会の概要について

〔議決の結果〕

事務局から2025年本大会の概要について説明(資料7)

- ・分科会の提案された内容について説明(8件)
- ・全体会の案について説明「特別・記念シンポジウム」

〔議決の結果〕

概要について承認された。

〔議事の経過〕

(実行委員長)

橿原市は世界遺産をアピールする機会だが、分科会と全体会の大枠を見る限りでは入っていない。エクスカージョンに盛り込むのか、分科会ですとなるのか。

(事務局)

世界遺産登録を目指しているということはPRする。エクスカージョンですなのか、分科会ですのかは相談していく。

(実行委員長)

分科会の「橿原市の魅力発信」はジェンダーの問題と少し離れているのではないか。

(委員)

学生にも日本女性会議が橿原市で開催され、自分が関わったという思い出を持ってもらいたいと提案したが、ご指摘のとおり分科会としていいのか悩んでいる。どういうテーマで考えていくかはまだである。

(実行委員長)

魅力発信をどういう形でやるかは全体の話ではないか。ここに並べると違うなという感じ。若い世代の方に何かしてもらい、参加してもらいということであれば、他でも係わってもらえるのではないか。

(実行委員長)

古代に女性の天皇が活躍した地で日本女性会議を開催すると聞いた時にどうやって入れ込むんだろうかと思って、難しいテーマだと思った。これ少し考えさせていただきたい。

(副実行委員長)

女帝がいた町だ、日本のはじまりというのが橿原の魅力と思う。その女帝のことも入れるんだったら「文学・歴史」の分科会でやったらいいのでは。

中学生・高校生を中に入れましょうというのは大切なこと。倉吉大会では「未来創造コンテスト」が高校生の夢をかなえる第一歩って書いてあって、これは切り口がSDGs。今回は観光みたいなイメージだけど、ちょっと言い方を変えれば可能ではないか。

(委員)

女帝と世界遺産と組み合して考えたらいいのでは。抱き合わせでやってるところもあるのでそれを参考にやったらどうか。

(実行委員長)

分科会の企画案を集約したところで、それぞれについて具体的なところを検討していく。それから今の参画団体だけでなく広く関係する団体に参加を呼びかけてほしい、参加いただいて共感の輪を広げていきたい。

8 報告事項

(1) シンボルマークについて

- ・考案者と著作権譲渡契約の締結が完了したことを報告。
- ・本日シンボルマークの記者発表をおこなう。
- ・事務局からシンボルマークの適切な活用のため、デザインマニュアル(資料8)、使用規程(資料9)を定めたことを報告
- ・実行委員や実行委員の団体が名刺や広報物に入れる場合は手続き不要

(2) 参加受付・宿泊手配等業務のプロポーザル審査の結果について

事務局よりプロポーザル審査の結果について報告(資料10)

- ・応募者3社、うち1社を受注予定者とした。
- ・今後、受注予定者と企画提案書を元に契約に向けて交渉を行う。
4月に契約締結を予定している。

9 その他

(1) 旅費の支給について

実行委員会や部会に出席の委員に旅費を支給する。申告は3月27日(水)まで。

(2) 次回実行委員会の開催日について

5月を予定する。会場や委員の予定を確認して決定する。